
2024（令和6）年度
名寄市立大学学生生活満足度調査
結果報告書

2025 年 3 月

学生委員会

目次

I	調査実施概要.....	1
II	調査結果.....	3
	1. 回答者の状況.....	3
	2. 学習に関わる満足度について	3
	3. 施設・設備・環境に関わる満足度について.....	8
	4. 学生生活に関わる満足度について	10
	5. 就職進路に関する支援に対する満足度について	13
	6. 本学の学生生活を全体的に総括した満足度について.....	15
III	本調査から得られた課題.....	16
	添付資料.....	17
	質問紙「本学の教育および学生生活に関するアンケート」	17

調査実施概要

1. 目的

本学学生の教学および学生生活に対する満足度を把握すること。その結果は、今後の本学の教育および学生支援の方向性を検討する基礎的資料として活用する。

- 1) 入学前および入学時・後における情報提供に対する学生の満足度を把握する。
- 2) 入学後の教育および学習支援に対する学生の満足度を把握する。
- 3) 学生生活および学生支援に対する学生の満足度を把握する。
- 4) 施設・設備に対する学生の満足度を把握する。
- 5) 学生の満足度から、本学の教学ならびに学生支援のありかたについて示唆を得る。

2. 調査方法

1) 対象

2025 年 1 月 14 日現在、保健福祉学部 に在学する全学生。ただし、休学中の学生を除く。

2) データ収集期間

2025 年 1 月 14 日～2025 年 2 月 5 日

3) データ収集方法

調査にはMicrosoft Forms を使い、メール文書ならびに口頭にて回答を呼びかけデータを収集した。

4) 調査内容

本学の教育に対する満足度、施設設備に対する満足度、学生生活に対する満足度、その他自由記述とした。

5) データ分析方法

基礎集計から分析をおこなった。

3. 倫理的配慮

口頭ならびにメール文書により調査目的および方法、調査結果の活用ならびに公表方法と個人情報保護への配慮を周知した。Microsoft Forms の使用にあたっては個人が特定できない設定とした。調査への協力は任意とするが、メール文書ならびに口頭にて調査目的を十分に説明し、回答を呼びかけデータを収集した。回答の提出をもって調査協力への同意があったものとみなした。

【本年度修正点】

・前回(令和4年度)では学生の基本属性に関する質問項目として、出身高校の地域、本学に入学した試験種別、本学が第一志望だったかという設問があったが、それらを削除した。「教学および学生生活に対する満足度」という調査内容との関連性が不明であり、必要性に欠ける質問だと思われたからである。

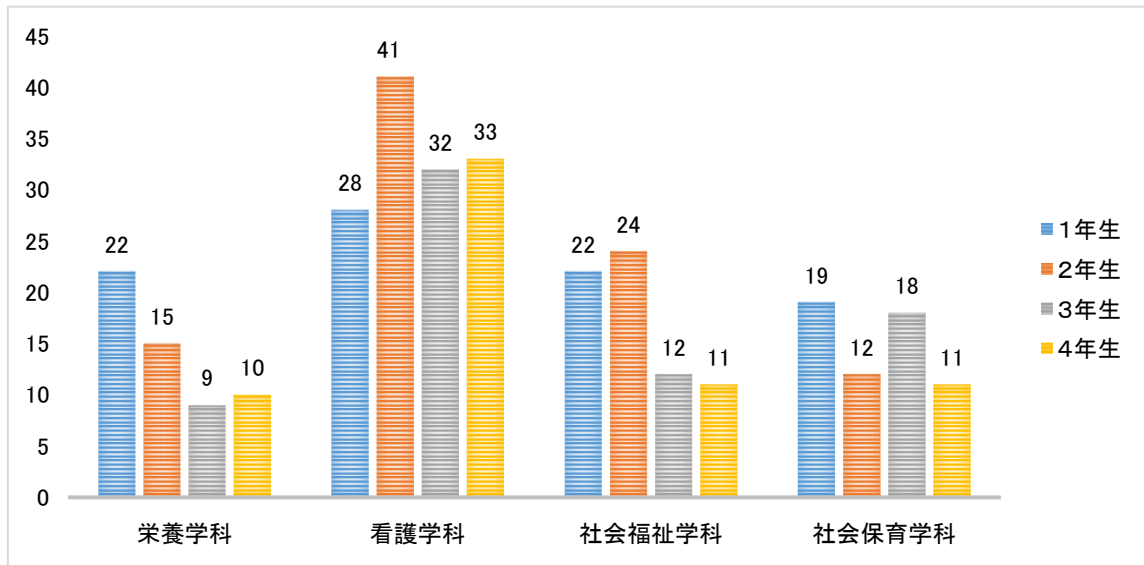
実際に前回調査では、履修登録および学習支援の満足度と、第一志望か否かとの相関関係は認められないことが明らかになっている。

II 調査結果

1. 回答者の状況

1) 回答状況

1. 学科・学年別回答者数



本アンケートの対象者(1月14日時点での在学者)は768名であるが、回答者数は319名にとどまった(回収率41.5%)。438名(57.3%)だった前回調査からするとかなり減少した。なお回答の平均時間は約5分で、前回調査(約8分)より短くなっている。

学科別に見た場合、看護学科が134名と突出しており、他は栄養学科56名、社会福祉学科69名、社会保育学科60名となっている。学年別では1年生91名、2年生92名、3年生71名、4年生65名。

全学科・学年で均一の高い回答率を得ることが今後の課題である。

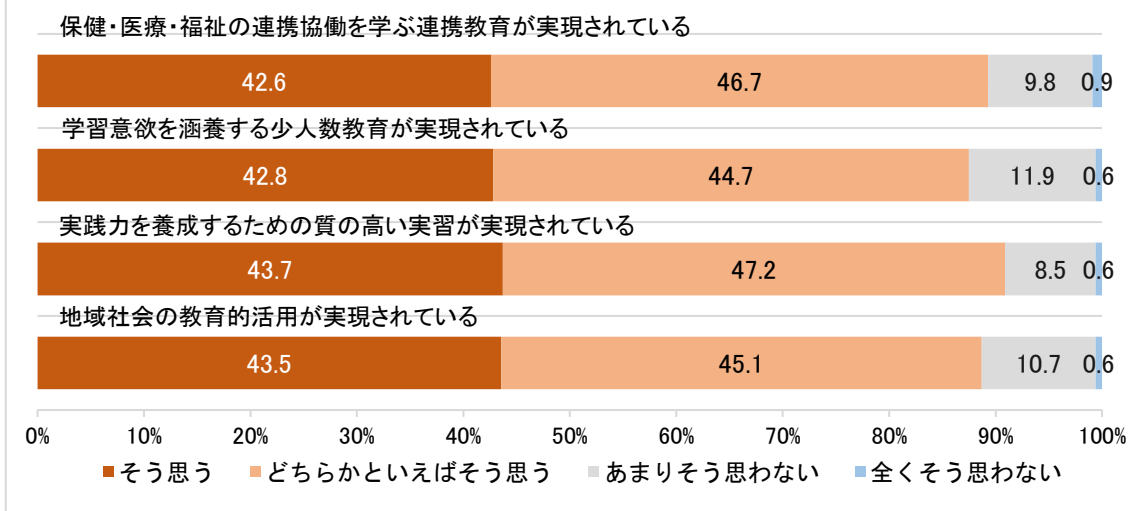
2. 学習に関わる満足度について

1) 本学の教育理念・目標は実現されているか

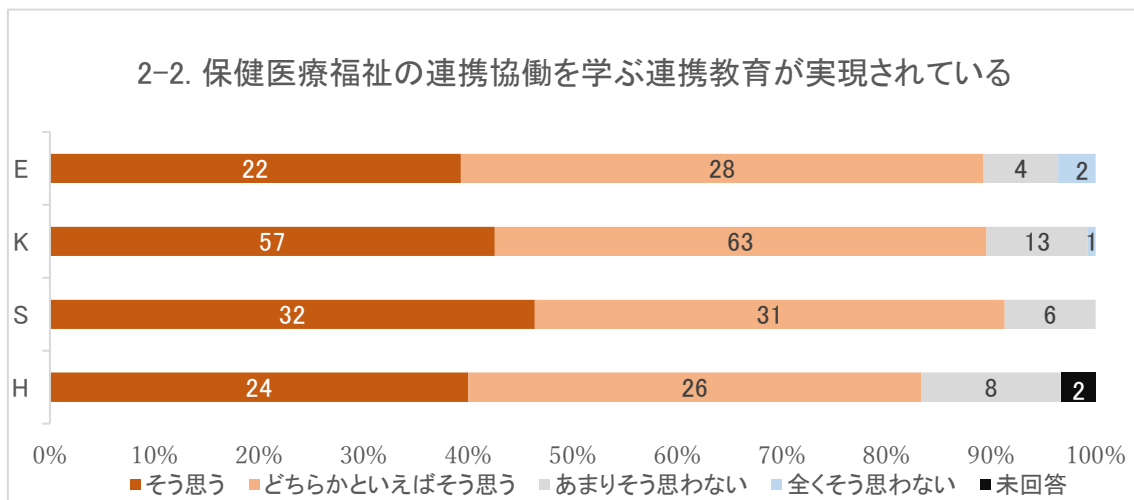
全体的に、前回と同様の結果となっている。前々回調査ではいずれも肯定的回答が75%程度であったが(コロナ禍初年度だったことの影響がうかがえる)、その後高水準で定着しているものと受け取れる。

ただし少人数教育に関しては、肯定的回答が前回91.8%から今回87.5%、否定的回答が8.3%から12.5%と、わずかにマイナス傾向を示した。

2-1. 本学の教育理念・目標は実現されているか

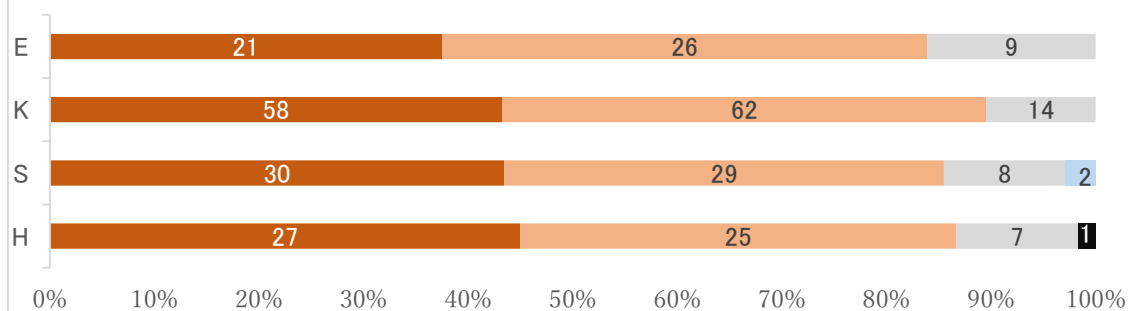


参考までに、学科別の回答の内訳も項目ごとに見てみる。



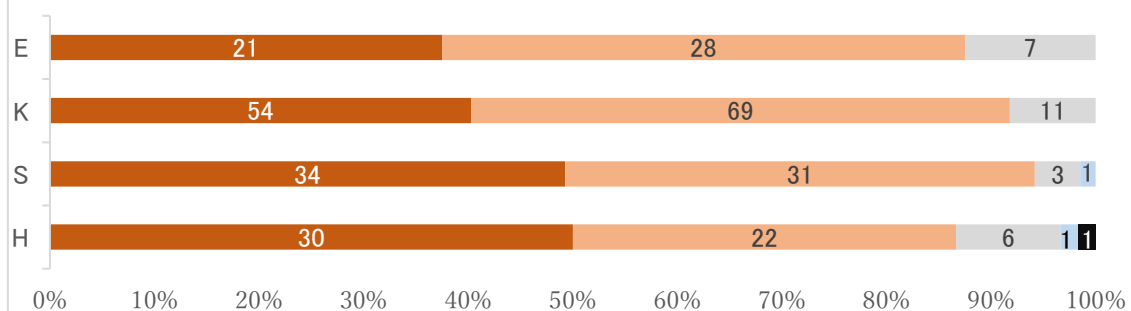
社会福祉学科で肯定的回答、特に「そう思う」が平均を上回る。

2-3. 学習意欲を涵養する少人数教育が実現されている



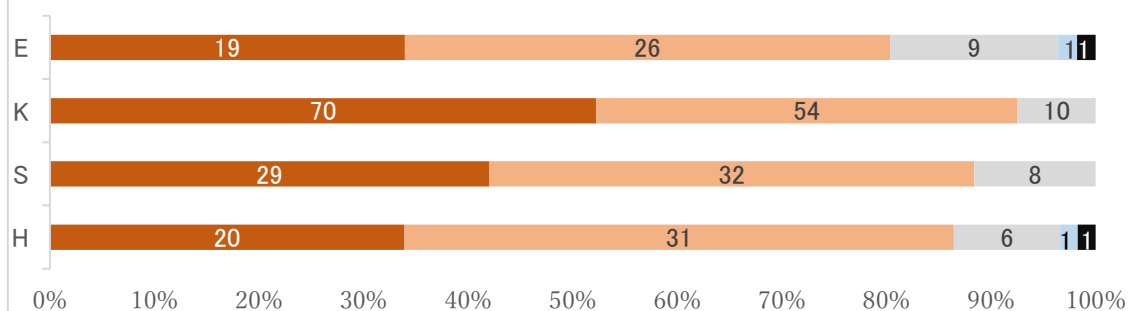
栄養学科で「そう思う」の割合がわずかに平均を下回る。

2-4. 実践力を養成するための質の高い実習が実現されている



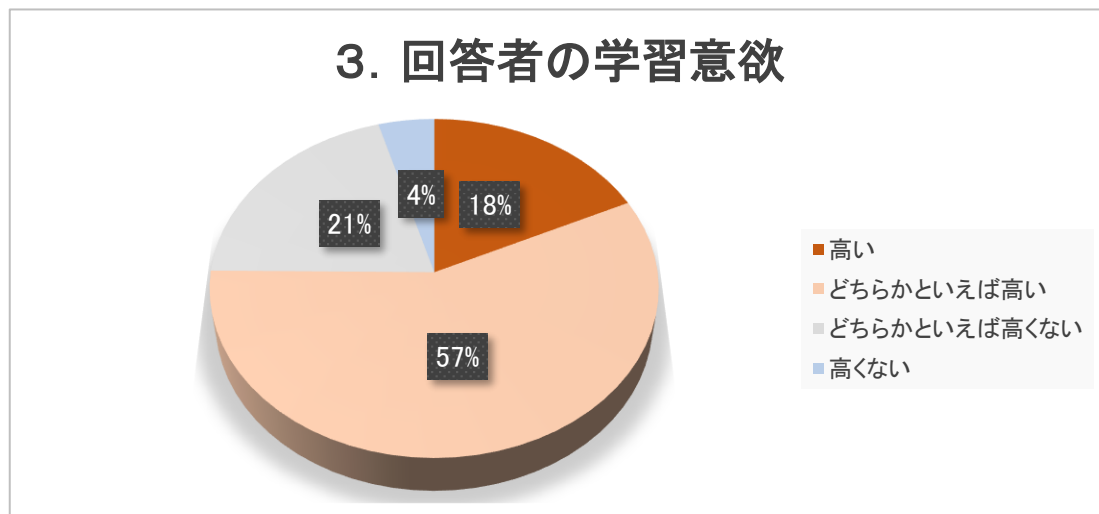
社会福祉学科の満足度が高い。社会保育学科も「そう思う」が5割に達した。

2-5. 地域社会の教育的活用が実現されている



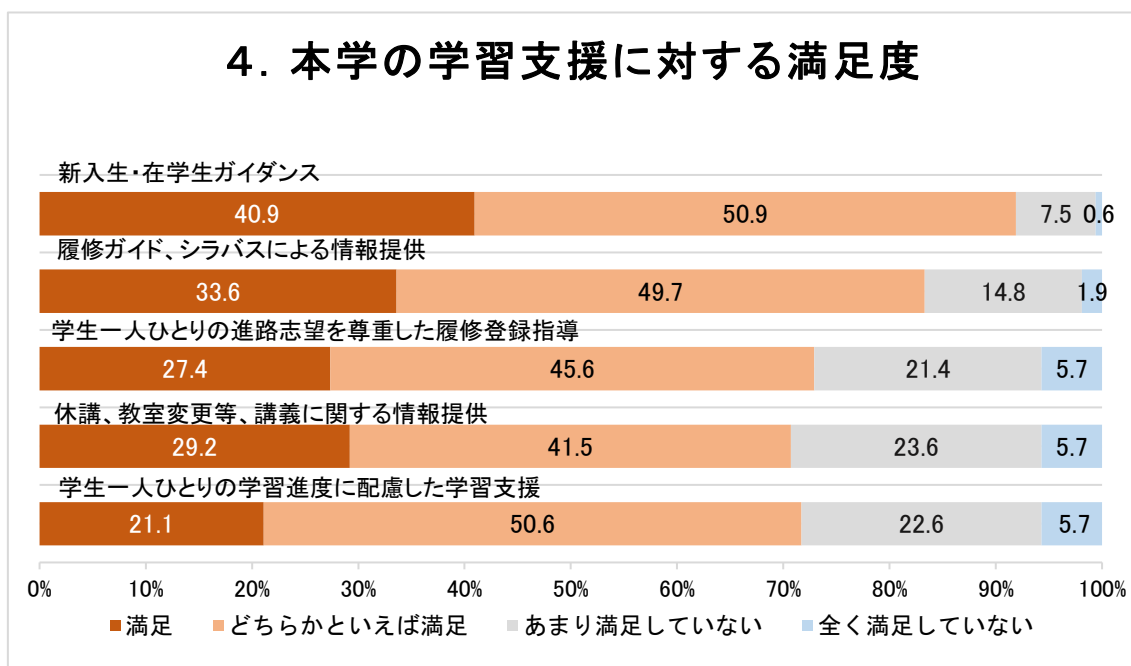
看護学科で「そう思う」が5割超となった。

2) 学習意欲の自認



74.9%の学生が学習意欲の高さを自認していた。前回調査では77.7%、前々回調査は80.2%であり、微減が続いている。

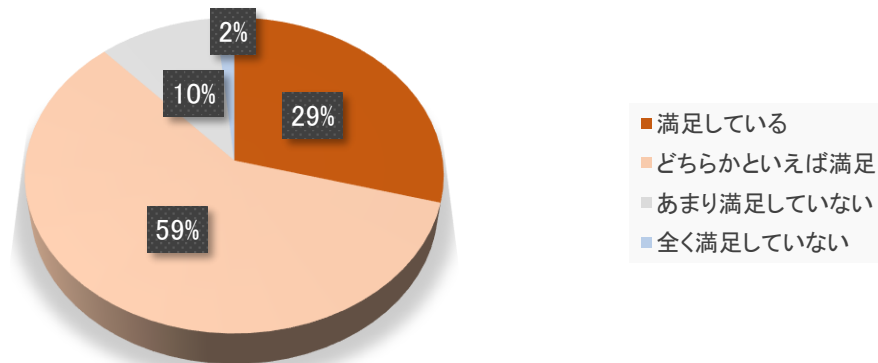
3) 学習支援に対する満足度



全体として、前回調査とほぼ同様の結果になった。ガイダンス、履修ガイド、シラバスについては満足度が高い。しかし個別の履修登録指導、情報提供、学習支援になるとやや不満が増える。自由記述では従来通り、講義の日程や教室変更の連絡を早くしてほしいという回答が目立つ。急な日程変更や補講が入ると、アルバイト勤務に支障が出て困るという意見が複数寄せられた。

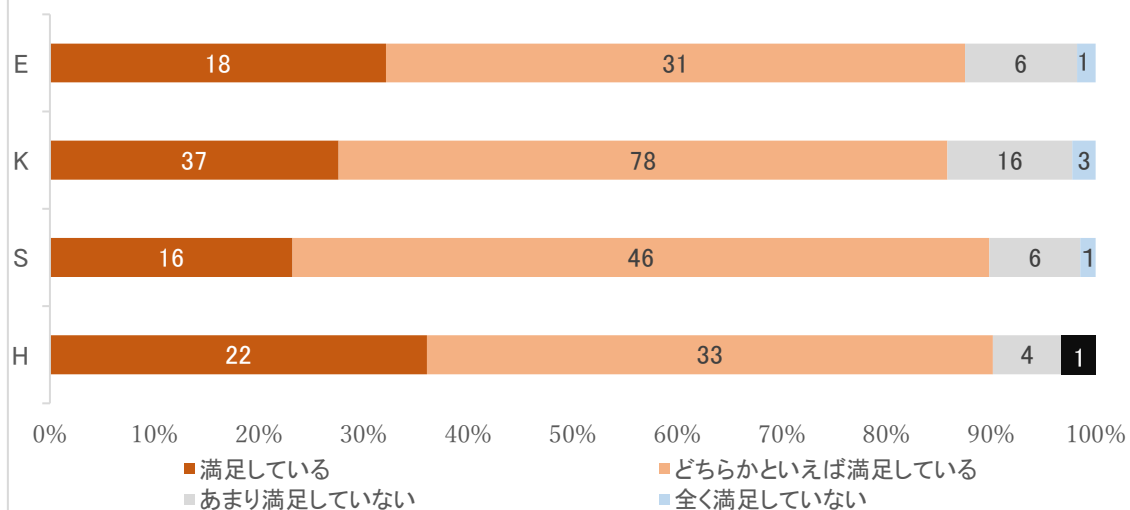
4) 教育全体に対する満足度

5-1. 本学における教育への全体的な満足度



「満足している」「どちらかといえば満足」の合計は88%となった。前回調査の90%に引き続き、高い水準を維持している。前々回調査は72.4%だったが、これにはコロナ禍初年度だったことの影響が指摘されていた。
念のため、学科別の結果も出してみる。

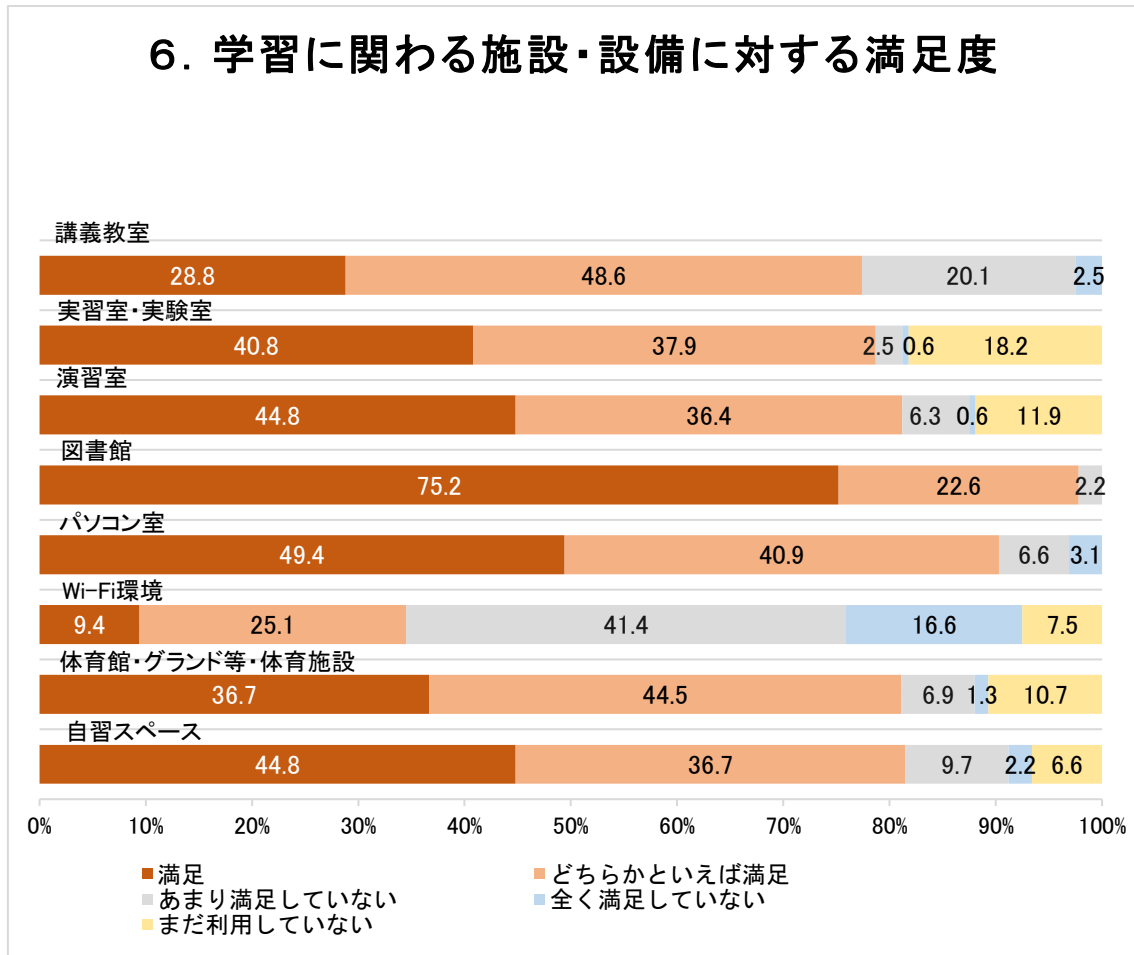
5-2. 本学における教育への全体的な満足度(学科別)



肯定的回答の割合はどれもほぼ同じだが、社会福祉学科では「満足している」の比率がやや低くなっている。社会保育学科は高い。

3. 施設・設備・環境に関わる満足度について

1) 学習にかかわる施設・設備に関する満足度



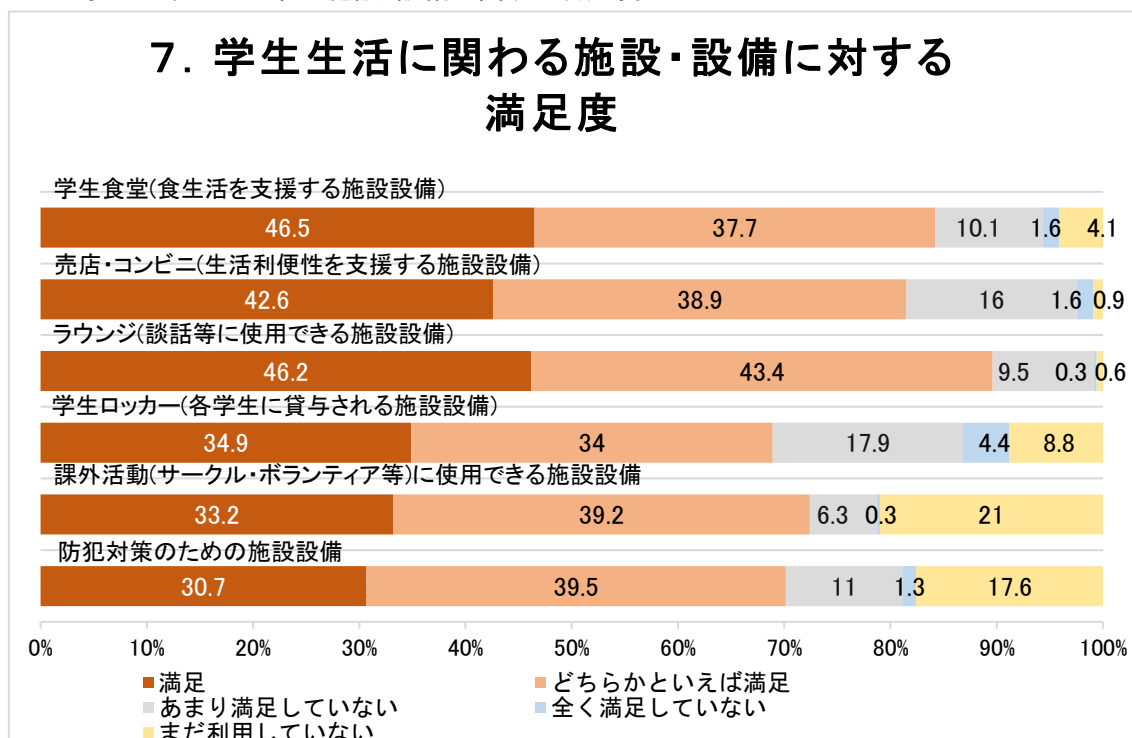
前回に引き続き、多くの施設で7割を上回る肯定的回答を得た。とりわけ図書館は前々回調査で84.9%、前回96.9%、今回97.8%という高満足度を維持している。

ただし自由記述をみると、冷暖房の不備を訴える意見が数多く寄せられている。他にも多目的ホールの雨漏り、2号館と3号館が遠くて授業に遅れそうになる、3号館のバリアフリー化など個別具体的な要望が色々出ている。この数値結果だけを見て判断せず、実情に即した改善点を洗い出す努力が必要である。

Wi-Fi環境については、以前より高い不満足度が続いている。前々回調査54.7%、前回49.3%、今回は58%と悪化した。自由記述においては、特に大講義室の改善を求める声が多い。同講義室でネットを使う授業の際、とても不便だという意見が多数寄せられた。

パソコン室は前回調査で29.9%の否定的回答があったが、今回は9.7%と大幅に改善された。

2) 学生生活にかかわる施設・設備に関する満足度



全体的に、前回調査より肯定的回答の割合が増えている。前回調査では売店・コンビニに関する否定的回答が30.5%に増えたが、今回は前々回調査と同じ水準に戻った。ヤマザキショップが撤退した後、ラウンジに食料品の自動販売機が設置されたが、その結果なのかは不明である。自由記述でも特に意見はみられなかった。

課外活動の設備施設、防犯対策の設備施設の項目はいずれも前回より「まだ利用していない」割合が減り、肯定的回答が増えている(しかし後述するように、課外活動の時間自体は増えていない)。

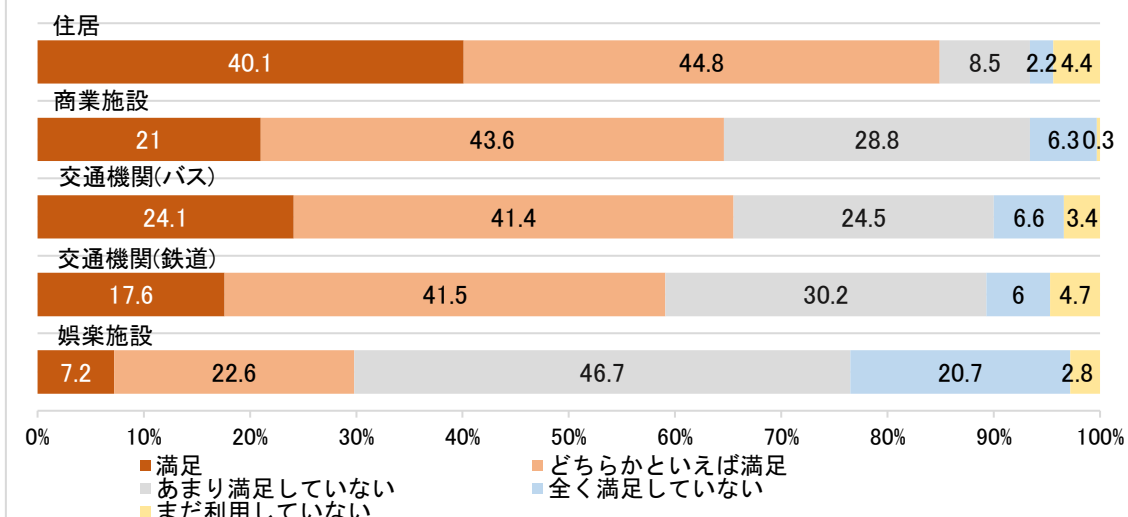
前回よりも満足度を下げたのが学生ロッカーである。自由記述で、看護学科のロッカーが狭く混雑するという意見が2件あった。

3) 名寄市の生活環境に対する満足度

前回と同様の傾向である。住居の満足度は高いが、その他となると不満足度が高くなる。自由記述では、JR通学している学生にとっては駅が遠く、冬の通学は自転車が使えないので送迎バスがあると助かるという要望があった。市外からの通学環境について、さらなる調査の必要性を感じた。

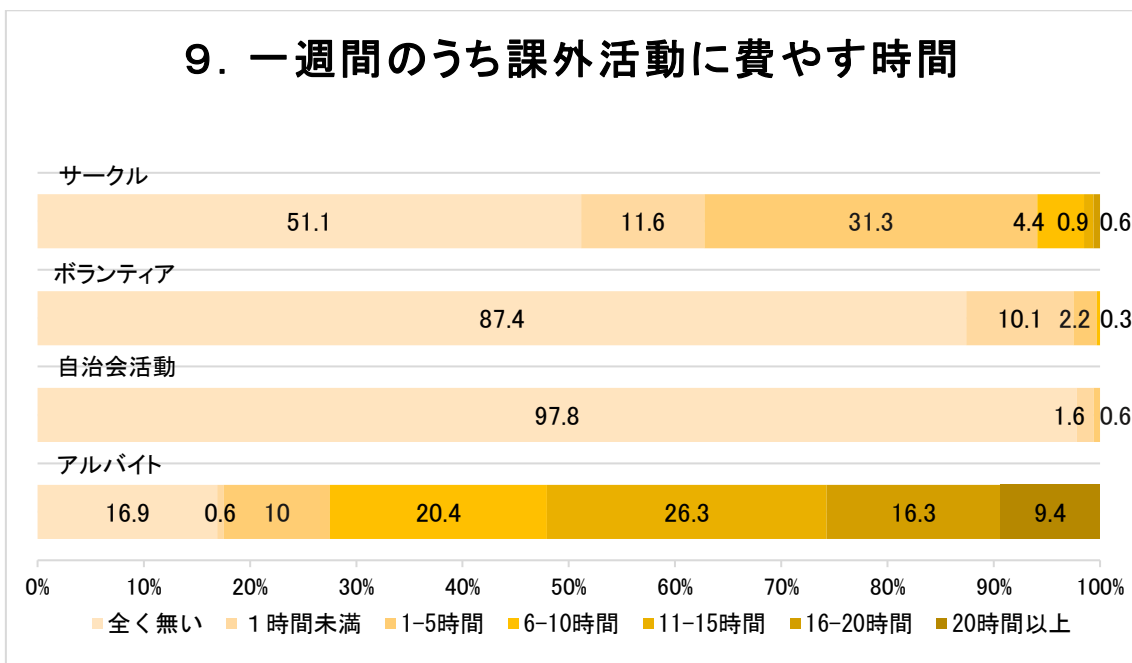
市の生活環境の問題は本学だけで改善できるものではなく、学生もそれを承知してか自由記述回答は少なかった。しかし今後の学生確保のうえでは、実はかなり重要な課題であると考えられる。学生の意見を聴き、市とともに生活環境の向上をめざす取り組みが求められる。

8. 名寄市の生活環境に対する満足度



4. 学生生活に関わる満足度について

1) 課外活動に1週間当たりどのくらいの時間を費やしているか

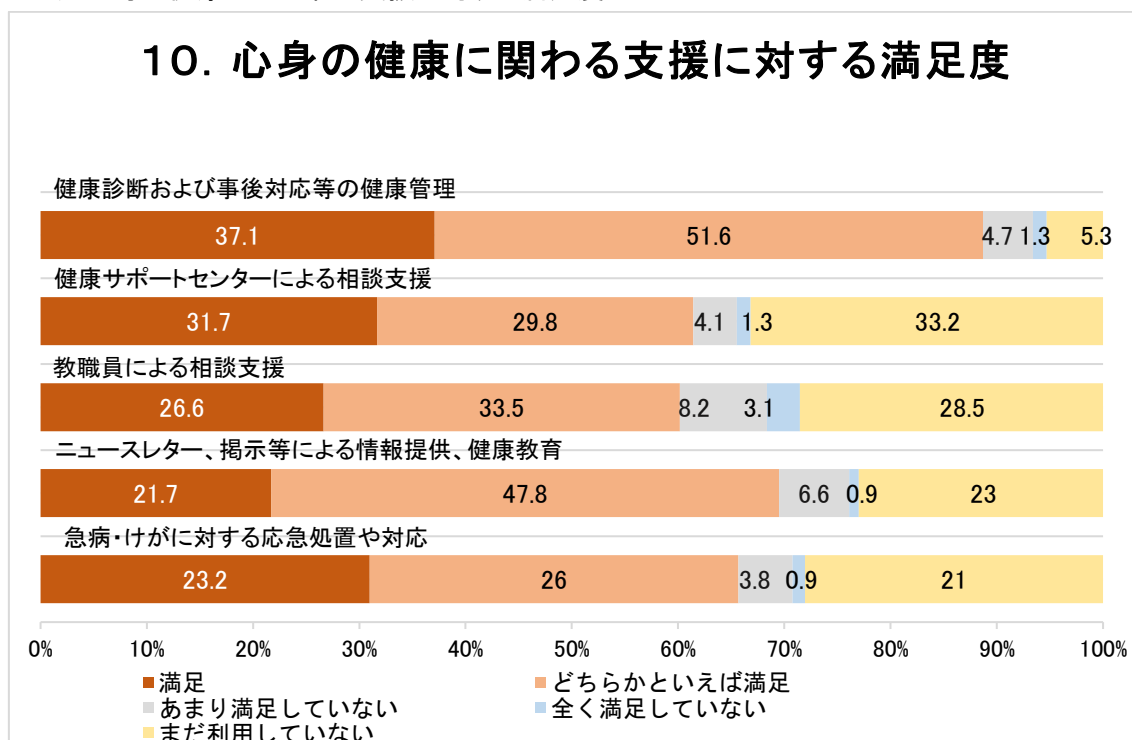


これも前回同様の結果を示した。前回調査の際はコロナ禍のため、課外活動が抑えられたとの分析がなされた。しかし5類移行から1年半が過ぎても、課外活動の時間に変化は見られなかった。

なお前々回調査では「課外活動（サークル、ボランティア、自治会活動等）への参加」について、「積極的にしている」「している」との回答が45.6%あった。その前の調査では50.8%で、コロナ禍による活動自粛の影響で低下したものと推測されていた。

だが今回の調査結果もふまえると、コロナ禍による変動は実は少なかったように受け取られる。本学学生はもともと、アルバイト以外の課外活動にあまり時間を割けない傾向にある。それは実習等の負担が大きいからではないかと推察される。

2) 心身の健康にかかわる支援に対する満足度

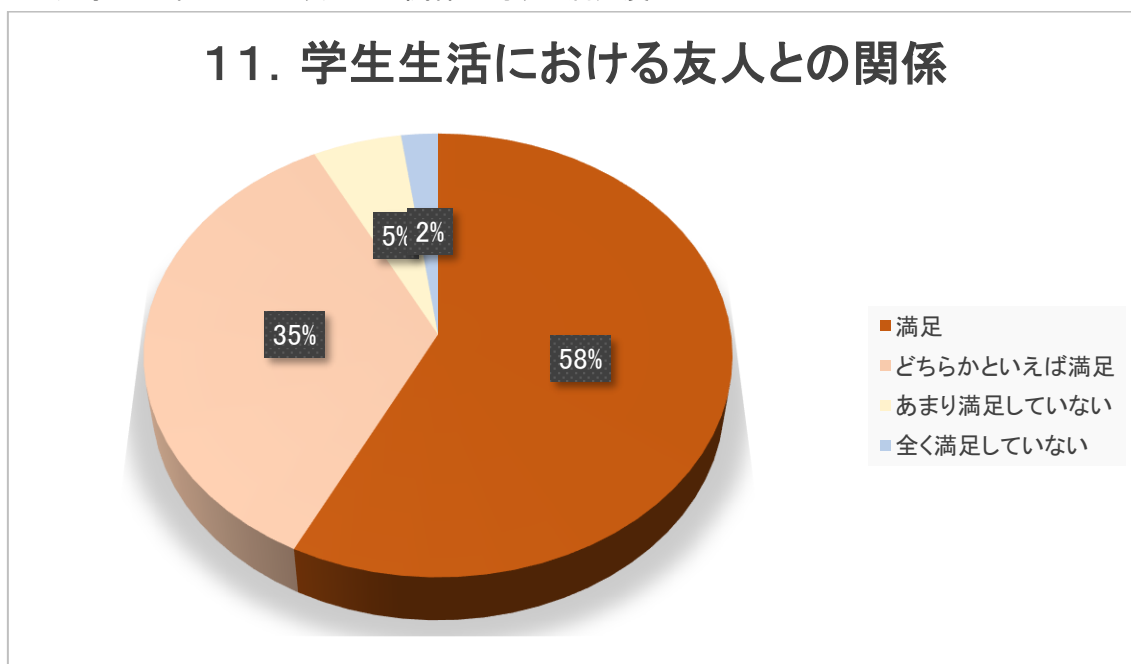


前回調査と比べ、「まだ利用していない」の割合が大幅に減った。特に「急病・けがに対する応急処置や対応」は前回62.8%から21%に減っている。また前回調査の「学生相談室の健康相談」を「教職員による相談支援」に改めたところ、未利用率は69.1%から28.5%に下がった。かなり大きな変動なので、この数値をそのまま受け取っていいか疑問もなくはないが、利用者が増加したことは間違いないであろう。

そして全体的に肯定的回答の増加傾向がみられる。健サポについては「どちらかといえば満足」が22.6%から29.8%へとアップ、「教職員による相談支援」の肯定的回答は前回29%から60.1%と急上昇した。

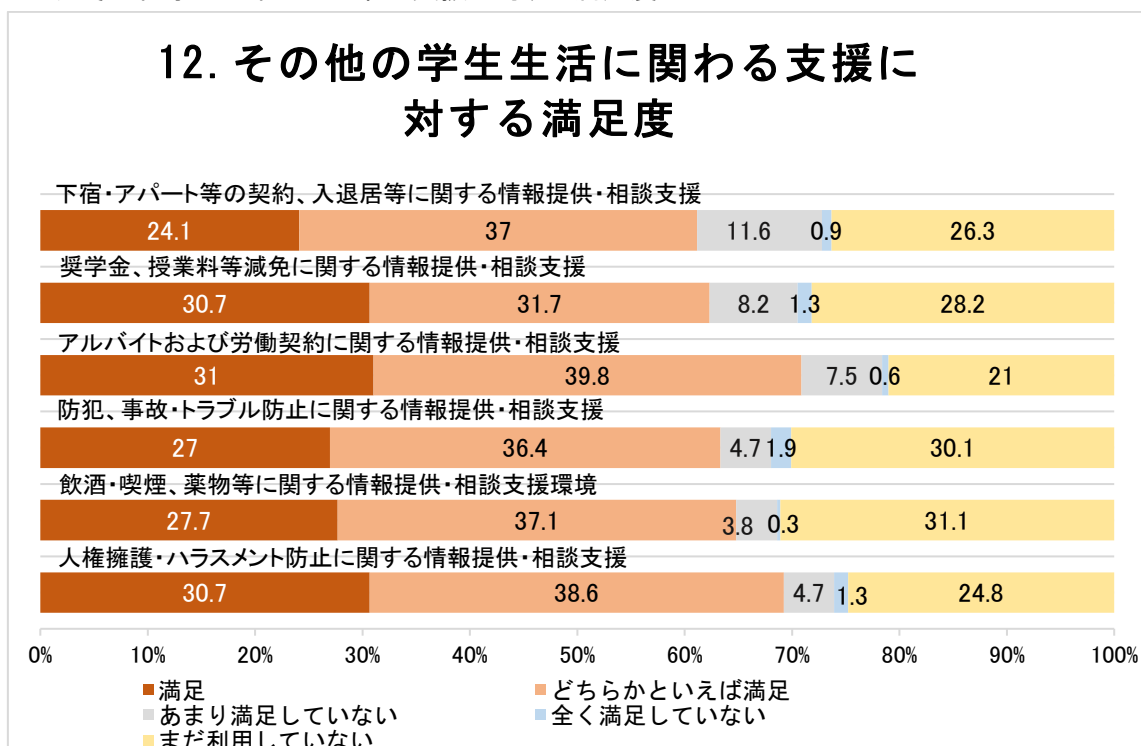
他方、否定的回答も全項目で微増した(前回はすべて5%以下)。しかし利用率の向上、肯定的回答の増加率と併せて考えると、全体として満足度は上がったものと受け取れる。

3) 学生生活における友人との関係に対する満足度



前回調査は「満足」61.2%、「どちらかといえば満足」31.4%、「あまり満足していない」6.2%、「全く満足していない」1.1%であった。前々回調査はそれぞれ54.0%、38.6%、5.6%、1.4%。ずっと同水準で推移している。

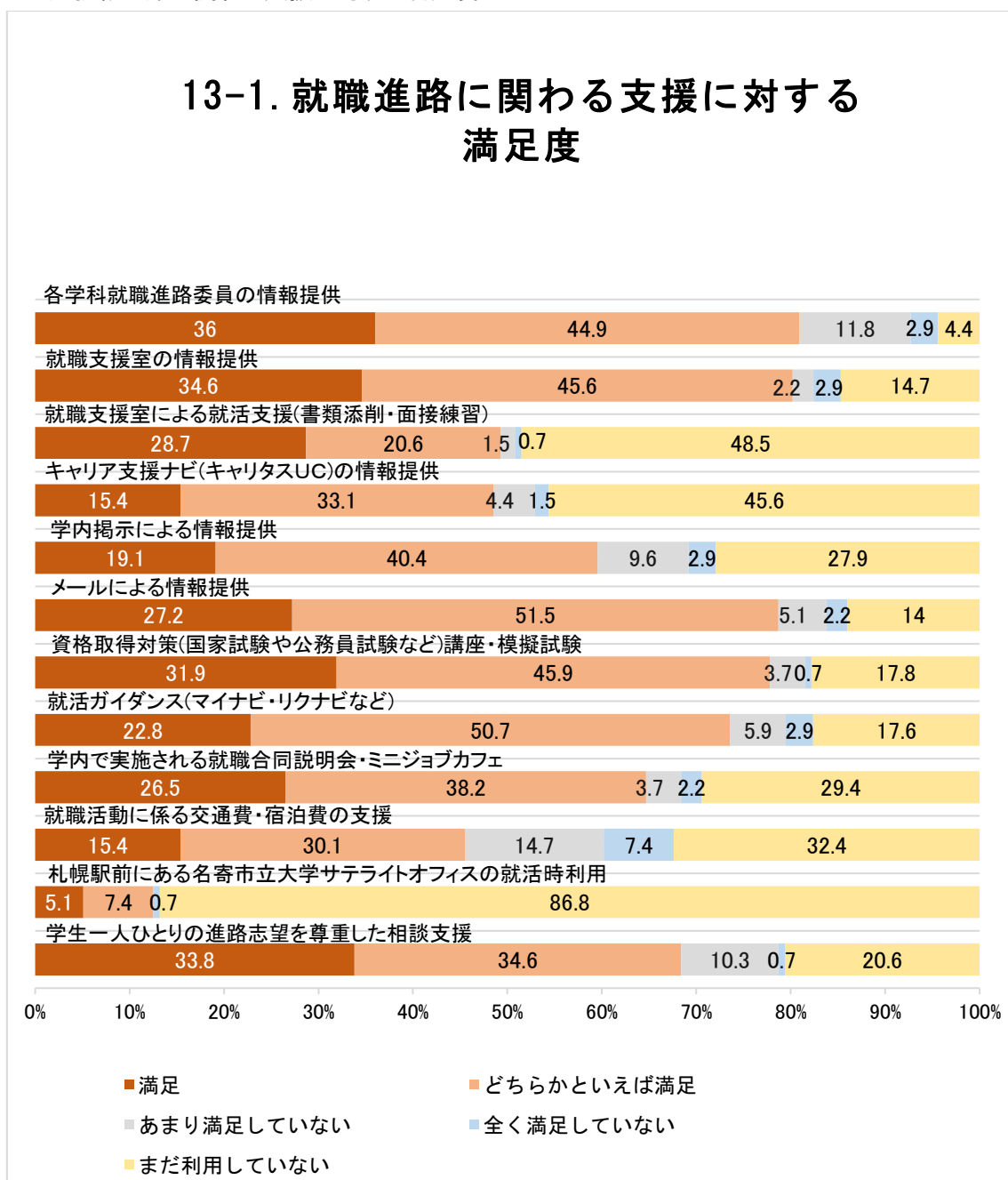
4) その他学生生活にかかわる支援に対する満足度



いずれの項目も前回に比べ、利用率が向上した。特に「防犯、事故・トラブル防止」「飲酒・喫煙、薬物」は15%、「人権擁護・ハラスメント防止」は10%上昇するとともに、肯定的回答も10%以上増加した。全体的に否定的回答の微増もみられるが、それを上回る肯定的回答の増加と利用率の向上を考えあわせれば、満足度は上がったといえよう。

5. 就職進路に関わる支援に対する満足度について

1) 就職進路に関わる支援に対する満足度



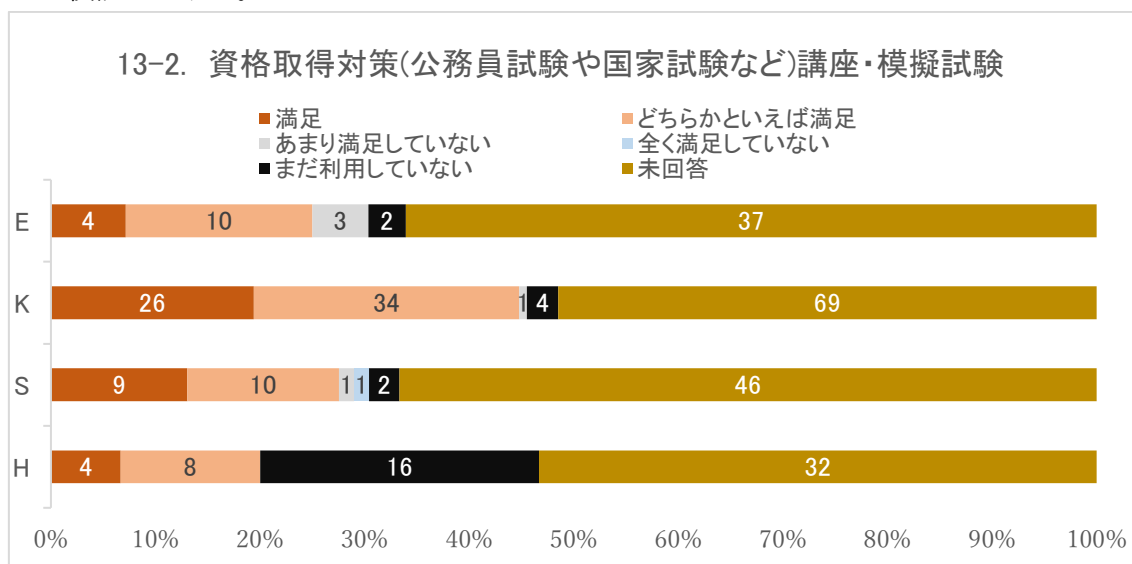
本設問は3・4年生限定である。前回調査の8項目から13項目に増やし、よりきめ細

かい調査を行った。全体的に利用率および肯定的評価の向上がみられる。

「各学科就職進路委員の情報提供」は利用率10%アップ、肯定的評価の割合も10%以上伸びた。「就職支援室の情報提供」も同様である。

「就職支援室による就活支援(書類添削・面接練習)」は今回はじめて設けた項目である。未利用率が高いものの、利用した者からは高い満足度を得ている。「キャリアタスUCの情報提供」「学内掲示の情報提供」も同様で、前回よりは利用率が向上し評価も上がっている。しかしなお利用していない者が多いことには変わりないので、さらなる周知と活用促進を図らねばならない。「メールによる情報提供」は今回初の設問であるが、学内掲示よりも高い利用率と好評を博している。

「資格取得対策講座」は前回調査で「学内実施」と「学外受講支援」に分けていたのを統合した。利用率と肯定的評価ともに大幅な向上を示している。前回調査では「学外受講支援」に関して、学科ごとに満足度の違いがみられたので、今回の結果も検証してみた。



未回答が非常に多いものの、利用した者の満足度は高い。保育の利用率の低さが目立つ。

「就活ガイダンス」「就職合同説明会」は今回初の設問である。いずれも他の項目と同様の傾向にある。

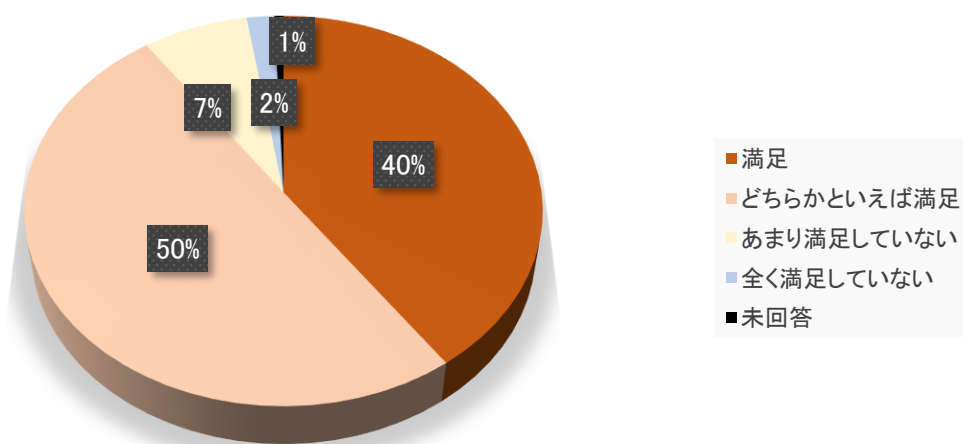
就職活動支援の項目を、今回「交通費・宿泊費の支援」と「サテライトオフィス」のふたつに分けた。旅費支援に関しては他の項目より否定的評価がやや上がる。自由記述回答で、道外への就職支援(情報提供・金銭面両方)の拡充を訴える意見が複数あった。前回調査でも同様の要望が寄せられていることから、継続的な課題として留意したい。サテライトオフィスについても周知を図りたい。

「学生一人一人の進路志望を尊重した相談支援」については、前回よりも利用率・肯定的評価ともに向上がみられた。

6. 本学の学生生活を全体的に総括した満足度について

1) 学生生活を全体的に総括した満足度

14-1. 学生生活を全体的に総括した満足度



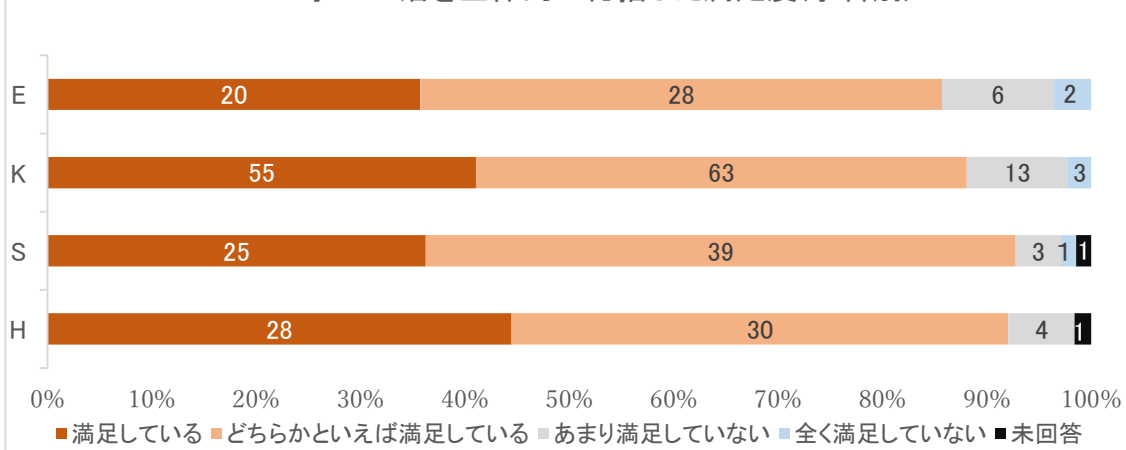
前々回および前回調査からの推移を表にまとめると以下の通りになる。

	令和2年度	令和4年度	令和6年度
満足	28.8%	43.9%	40.1%
どちらかといえば満足	56.9%	48.1%	50.1%
あまり満足していない	11.9%	7.1%	7.2%
全く満足していない	1.8%	0.9%	1.8%

前回調査とほぼ同水準となった。満足度9割を維持できたことは、教職員一同の努力の賜物であろう。

学科別の満足度は以下の通りとなった。

5-2. 学生生活を全体的に総括した満足度(学科別)



III 本調査から得られた課題

1. 学習に関わる満足度について

教育理念・目標の実現度については前回同様高い水準を維持している。学習意欲は微減傾向を示しているが、今後の推移を見守りたい。

学習支援も前回と同様の傾向を示し、個別の履修登録指導、情報提供、学習支援に対する不満が見受けられる。とりわけ、講義の日程や教室変更の連絡が遅いという意見が従来通り目立った。計画の変更を早期に決めて連絡することや、情報提供システムの改善が必要である。

2. 施設・設備・環境に関わる満足度について

Wi-Fi環境をはじめ、冷暖房設備などの不満を訴える声が多数寄せられた。予算の確保等難しい面もあるが、授業に支障が出ていることもあり、急務である。

3. 学生生活に関わる満足度について

大学の施設・設備および支援活動については、利用率および満足度ともに大幅に上昇した。他方、名寄市の生活環境については従来通り、高い不満度が示されている。今後の学生確保のためにも、市と協働した取り組みが求められる。

4. 就職進路に関わる支援に対する満足度について

前回よりも利用率および満足度ともに向上がみられた。それでもなお未利用の割合は多いので、今後さらなる周知と活用促進を図るべきである。遠方への就職活動支援も改善を要する。

5. 総括

以上、課題点のみを挙げたが、結論としては満足とする学生が90%にのぼった。今後も高い満足度を維持できるよう、不断の努力を重ねたい。

学生生活満足度調査(令和 6 年度)

よりよい名寄市立大学を実現するため、できるだけ全ての質問事項に回答をお願いします。ただし、回答したくない質問には回答しなくてもかまいません。質問への回答方法には、①該当する数字を一つだけ選択するもの、②意見を自由に記述するものがあります。全ての回答に要する時間は約10分です。

* 必須

あなた自身についてお伺いします。

1. あなたの学科 *

- ☐ 栄養学科
- ☐ 看護学科
- ☐ 社会福祉学科
- ☐ 社会保育学科

本学の教育についてお伺いします。

2. 本学の教育理念・目標は実現されていると思いますか？

	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
保健・医療・福祉 の連携協働を学 ぶ連携教育が実 現されている	☐	☐	☐	☐
学習意欲を涵養 する少人数教育 が実現されている	☐	☐	☐	☐
実践力を養成す るための質の高い 実習が実現され ている	☐	☐	☐	☐
地域社会の教育 的活用が実現さ れている	☐	☐	☐	☐

3. あなたの学習意欲

- ☐ 高い
- ☐ どちらかといえば高い
- ☐ どちらかといえば高くない
- ☐ 高くない

4. 本学の学習支援に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない
新入生・在学生 ガイダンス	☐	☐	☐	☐
履修ガイド、シラバ スによる情報提供	☐	☐	☐	☐
学生一人ひとりの 進路志望を尊重 した履修登録指 導	☐	☐	☐	☐
休講、教室変更 等、講義に関する 情報提供	☐	☐	☐	☐
学生一人ひとりの 学習進度に配慮 した学習支援	☐	☐	☐	☐

5. あなたは本学における教育を全体的に総括して満足していますか？

- ☐ 満足している
- ☐ どちらかといえば満足している
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 全く満足していない

本学の施設設備についてお伺いします。

6. 学習にかかわる施設設備に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
講義教室	☐	☐	☐	☐	☐
実習室・実験室	☐	☐	☐	☐	☐
演習室	☐	☐	☐	☐	☐
図書館	☐	☐	☐	☐	☐
パソコン室	☐	☐	☐	☐	☐
Wi-Fi環境	☐	☐	☐	☐	☐
体育館・グラウンド 等・体育施設	☐	☐	☐	☐	☐
自習スペース	☐	☐	☐	☐	☐

7. 学生生活にかかわる施設設備に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
学生食堂(食生活を支援する施設設備)	☐	☐	☐	☐	☐
売店・コンビニ(生活利便性を支援する施設設備)	☐	☐	☐	☐	☐
ラウンジ(談話等に使用できる施設設備)	☐	☐	☐	☐	☐
学生ロッカー(各学生に貸与される施設設備)	☐	☐	☐	☐	☐
課外活動(サークル・ボランティア等)に使用できる施設設備	☐	☐	☐	☐	☐
防犯対策のための施設設備	☐	☐	☐	☐	☐

本学における学生生活について伺います。

8. 名寄市の生活環境に満足していますか？他の市町村から通学している等の理由で、全く利用していない場合は「まだ利用していない」とお答えください。

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
住居	☐	☐	☐	☐	☐
商業施設	☐	☐	☐	☐	☐
交通機関(バス)	☐	☐	☐	☐	☐
交通機関(鉄道)	☐	☐	☐	☐	☐
娯楽施設	☐	☐	☐	☐	☐

9. 課外活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしていますか？

	全く無い	1時間未満	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	20時間以上
サークル	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ボランティア	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自治会活動	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
アルバイト	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

10. 心身の健康にかかわる支援に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
健康診断および 事後対応等の健康 管理	☐	☐	☐	☐	☐
健康サポートセン ターによる相談支 援	☐	☐	☐	☐	☐
教職員による相 談支援	☐	☐	☐	☐	☐
ニュースレター、掲 示等による情報 提供、健康教育	☐	☐	☐	☐	☐
急病・けがに対す る応急処置や対 応	☐	☐	☐	☐	☐

11. あなたの学年 *

☐ 1年生

☐ 2年生

☐ 3年生

☐ 4年生

12. 【3・4年生のみ】就職進路にかかわる支援に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
各学科就職進路委員の情報提供	☐	☐	☐	☐	☐
就職支援室の情報提供	☐	☐	☐	☐	☐
就職支援室による就活支援(書類添削・面接練習)	☐	☐	☐	☐	☐
キャリア支援ナビ(キャリアスU C)の情報提供	☐	☐	☐	☐	☐
学内掲示による情報提供	☐	☐	☐	☐	☐
メールによる情報提供	☐	☐	☐	☐	☐
資格取得対策(国家試験や公務員試験など)講座・模擬試験	☐	☐	☐	☐	☐
就活ガイダンス(マイナビ・リクナビなど)	☐	☐	☐	☐	☐
学内で実施される就職合同説明会・ミニジョブカフェ	☐	☐	☐	☐	☐
就職活動に係る交通費・宿泊費の支援	☐	☐	☐	☐	☐
札幌駅前にある名寄市立大学サテライトオフィスの就活時利用	☐	☐	☐	☐	☐
学生一人ひとりの進路志望を尊重した相談支援	☐	☐	☐	☐	☐

13. その他の学生生活にかかわる支援に満足していますか？

	満足	どちらかといえば満足	あまり満足していない	全く満足していない	まだ利用していない
下宿・アパート等の契約、入退居等に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐
奨学金、授業料等減免に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐
アルバイトおよび労働契約に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐
防犯、事故・トラブル防止に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐
飲酒・喫煙、薬物等に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐
人権擁護・ハラスメント防止に関する情報提供・相談支援	☐	☐	☐	☐	☐

14. 本学における学生生活をより充実させるために、個別支援、情報提供、相談支援体制などについて、希望することをお書きください。

15. 学生生活における友人との関係に満足していますか？

- ☐ 満足
- ☐ どちらかといえば満足
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 全く満足していない

16. あなたは本学における学生生活を全体的に総括して満足していますか？

- ☐ 満足
- ☐ どちらかといえば満足
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 全く満足していない

自由記述

17. 本学について、あなたが日頃感じていること、考えていることを自由にお書きください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms